

【プレスリリース】

2021年5月17日

報道関係各位

史上最高の次世代有機 EL パネル「LG OLED evo」搭載 G1 シリーズを含む、
有機 EL テレビ 2021 年ラインアップ
全 3 シリーズ 10 モデルを 5 月下旬より順次発売

LGエレクトロニクス・ジャパン株式会社

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社（代表取締役：李 榮彩（イ・ヨンチェ） 本社：東京都中央区）は、有機 EL テレビの 2021 年ラインアップとして全 3 シリーズ 10 モデルを 2021 年 5 月下旬より全国で順次発売します。

LG エレクトロニクスは、2011 年の FPR 方式※1 3D 液晶テレビの発売を始め、2012 年国内初のスマートテレビ※2 を発売するなど、常に革新的な製品を世界に提案してまいりました。そして大型の有機 EL テレビをグローバルで 2013 年、日本では 2015 年に発売して以降、有機 EL テレビのパイオニアとして、8 年連続で世界 No.1 ブランドとしてシェアを獲得※3 しています。

そして今年、有機 EL テレビの新モデルとして、色の再現性と明るさがさらに向上した次世代有機 EL パネル「LG OLED evo」を採用した「OLED G1」シリーズを始め、スリムな筐体から前方にクリアな高音質を届ける「ディンプルスピーカー」を搭載し、豊富なサイズラインナップが特長の「OLED C1」、Dolby Vision IQ と Dolby Atmos に対応した高画質・高音質なスタンダードモデル「OLED A1」の計 3 シリーズを展開。83 インチの大画面から、個視聴にも対応する 48 インチまで、お客様の好みや設置環境に合わせて選べる 5 サイズをラインアップします。

映像においては、テレビの心臓部ともいえる映像エンジンに人工知能を統合させた AI 対応映像エンジンを搭載。何百万もの映像ソースを学習した AI プロセッサーが第 4 世代に進化し、地上波でも、ネット動画でも、あらゆるコンテンツに合わせて、最高レベルの映像を映し出します。

サウンド面においても、映像のジャンルを AI が分析し、それぞれに合わせて、臨場感あふれるバーチャル 5.1.2ch サウンドに変換する「AI サウンドプロ」などを搭載しています。

在宅時間が増えた昨今、テレビは地上波放送を見るだけではなく、世界中のエンターテインメントと繋がることのできるデバイスとして、新たな進化を遂げています。

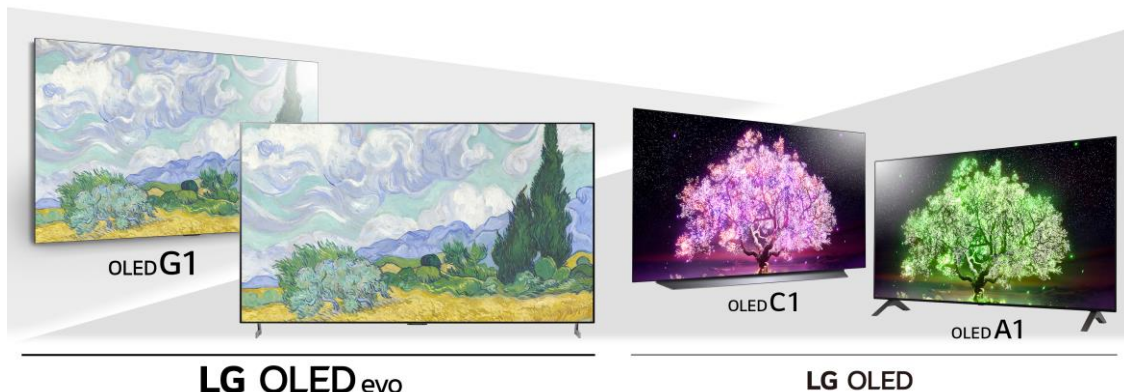
当社のテレビなら、上下左右に振るとカーソル&スクロール操作が可能な「マジックリモコン」と、WEB OS6.0 の採用によりスムーズに VOD サービスやインターネットにアクセスが可能に。

ゲームプレイにおいても、HDMI2.1 で指定された eARC、VRR（可変リフレッシュレート）、ALLM（自動低遅延モード）をサポートしており、2020 年発売の最新ゲーム機にも対応することで、ゲーム機本来のスペックを余すことなく発揮できます。

※1: FPR 方式とは Film Patterned Retarder（フィルム偏光）方式のこと

※2: OS 搭載＝アプリダウンロード方式のテレビ

※3: この評価は有機 EL テレビ出荷台数に関する内容です。Omdia・TV Sets (Emerging Technologies) Market Tracker 調べ（2013 年～2020 年）に依拠しております。



LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社

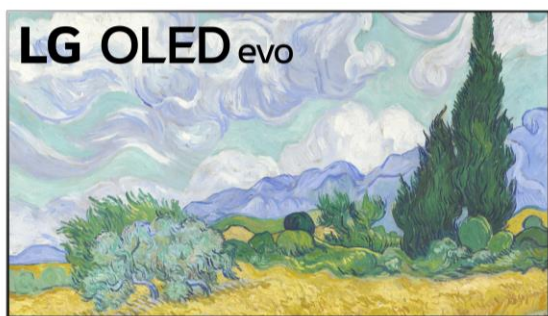
〒104-8301 東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラストタワー15 階

<http://www.lg.com/jp>

<発売概要>

シリーズ	品番	画素数/ パネル	インチ	価格(予想実売価格・税込)	発売 予定日
OLED G1	OLED 65G1PJA	4K/ OLED evo	65	オープン価格(480,000 円前後)	5 月下旬
	OLED 55G1PJA		55	オープン価格(350,000 円前後)	
OLED C1	OLED 83C1PJA	4K/ OLED	83	オープン価格(1,100,000 円前後)	6 月中旬
	OLED 77C1PJB		77	オープン価格(660,000 円前後)	5 月下旬
	OLED 65C1PJB		65	オープン価格(430,000 円前後)	
	OLED 55C1PJB		55	オープン価格(290,000 円前後)	
	OLED 48C1PJB		48	オープン価格(250,000 円前後)	
OLED A1	OLED 77A1PJA		77	オープン価格(620,000 円前後)	7 月上旬
	OLED 55A1PJA		55	オープン価格(250,000 円前後)	6 月中旬 6 月下旬
	OLED 48A1PJA		48	オープン価格(220,000 円前後)	7 月上旬

※2020 年発売の 8K 有機 EL テレビ「OLED 88ZXPJA」、「OLED 77ZXPJA」は継続販売予定

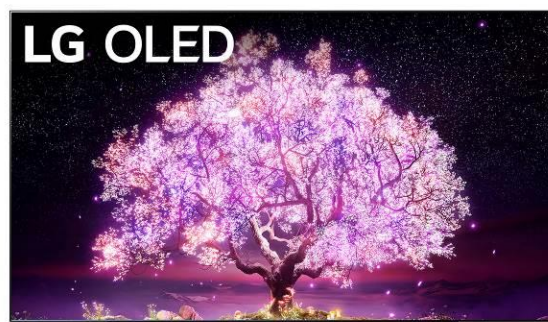


～スタンドタイプ～

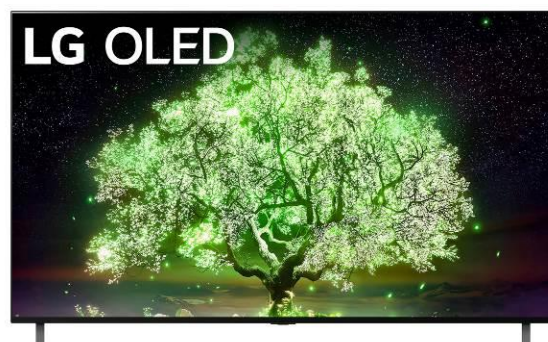
「OLED 65G1PJA」



～ギャラリーデザイン～



「OLED 83C1PJA」



「OLED 77A1PJA」

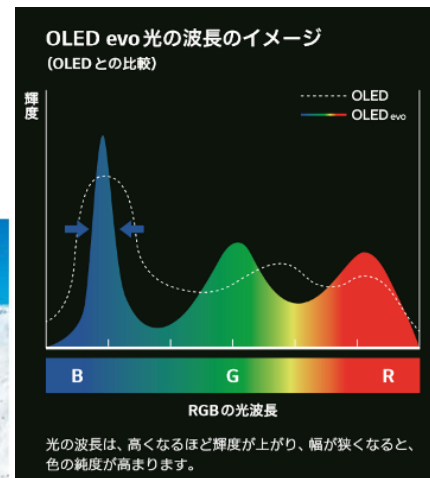


■ 主な特長

【進化した世界基準の有機 EL パネル、誕生「LG OLED evo」】

(※OLED G1 シリーズのみ)

LG の有機 EL パネルがさらなる美しさを求めて進化。
次世代パネル「OLED evo」は新しい発光素材を採用し、
赤・緑・青の波長を改善するとともに、新レイヤーを付加する
ことで、色の再現性と明るさがさらに向上。驚くほど鮮明で、
豊かで緻密な色表現で、より美しくリアルな映像を実現しま
す。



【高機能 AI プロセッサが最高の映像・音響体験を生み出す「α 9 Gen4 AI Processor 4K」】

(※OLED A1 シリーズは「α 7 Gen4 AI Processor 4K」搭載)

ジャンルやシーンをリアルタイムに検出し、音を強化することで最適な映像体験を演出

テレビの心臓部ともいえる映像エンジンに、人工知能を統合させた AI 対応映像エンジンを開発。
何百万もの映像ソースを学習した AI プロセッサが第 4 世代に進化し、地上波でも、ネット動画で
もあらゆるコンテンツに合わせて、最高レベルの映像と音響で映し出します。

視聴している映像のジャンル(シネマ・スポーツ・アニメーショ
ン・スタンダード)だけでなく、シーン(夜景・街並み・自然・スタ
ンダード)ごとに自動で認識。それぞれのシーンに合う設定を
自動で適用します。

さらに、AI が今見ている映像のジャンルを分析し、ドラマ・
スポーツ・映画・ニュース・音楽の 5 つに分類。それぞれの
ジャンルに合わせたサウンドへ調整し、臨場感あふれる
バーチャル 5.1.2ch サウンドに変換します。



[高機能 AI プロセッサによる映像・サウンドの調整プロセス]



【LG がつくりだす、新時代のホームエンターテインメント体験】

(1) VOD ～ずっと。ネット体験～

<マジックリモコン>

マジックリモコンをテレビに向けて上下左右に振るとカーソル&スクロール操作が可能。文字入力や動画の早送りもずっと操作できます。

<オートボリュウムレベリング>

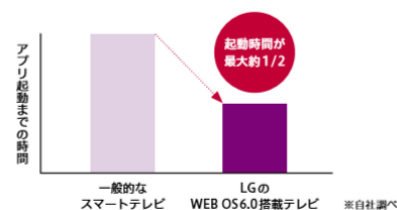
使用するアプリによっては音量が異なる場合がありますが、どんなアプリやチャンネルを見ているときでも、一貫した音声レベルを維持します。

<webOS 6.0 採用>

webOS 6.0 の採用によりスピーディな操作が可能に。
ストレスなくネット動画を楽しめます。

<多彩なネット動画アプリ>

「観たい」にこたえる多彩なネット動画アプリに対応。幅広いジャンルのネット動画アプリが LG のテレビでも楽しめて、4K 動画にも対応します。さらに、韓流コンテンツも新たに追加しました。



NETFLIX 4K、HDR 作品が充実。 話題のオリジナル作品も注目！	hulu 60,000 本以上の映画・ドラマ・アニメ・バラエティを楽しめる	amazon prime video Amazon プライム会員なら 会員特典対象の映画・TV 番組が見放題。	DAZN 世界中のスポーツをライブ中継。 ハイライト&見逃し配信も見放題。	U-NEXT 最新映画やドラマなど 多彩なジャンルが勢ぞろい。
TSUTAYA TV 最新作をすぐにレンタル。 約1万作品対象の見放題プランも。	YouTube 世界中で視聴されている動画を 迫力の画面で楽しめる！	JOYSOUND.TV 10万曲以上の楽曲が 自宅のテレビで聴き放題。	Apple TV 見逃したドラマや話題の映画など 1作品から気軽に視聴できる！	UかりTV 4K さまざまなジャンルの4K作品を 豊富にラインアップ。
weverse 全世界ファンとアーティストが一緒に 楽しむグローバルプラットフォーム。BTS, New Hope Club, CL など グローバルアーティストの多様なメディアコンテンツをお楽しみください。	NEW  スターとファンと一緒に楽しむ、 グローバルコミュニティ プラットフォーム、V LIVE	※ 2021年5月現在 ※モデルにより利用可能なコンテンツが異なります。 ※音声検索機能や各アプリを使うには、インターネット接続が必要です。 また、ご利用には各サービスの別途契約(有料)が必要な場合があります。 ※1 UHD/4Kのご利用は、「Netflix」視聴プラン、インターネットサービス、デバイス機能、利用可能なコンテンツによって異なります。 詳細は https://help.netflix.com/legal/termsofuse をご覧ください。 ※2 Hulu 4K UHD/HDR/5.1ch サラウンド対応コンテンツの視聴も可能となります。 ※3 Amazon, Prime Video および関連する全てのロゴは Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。		

(2) FILM ～ずっと。映画視聴～

<Dolby Vision IQ>

「Dolby Vision IQ」が室内の明るさに合わせて「Dolby Vision®」の映像を自動最適化。明るい部屋でも暗い部屋でも、映像表現をそのままにコンテンツを常に最高クラスの画質で鑑賞できます。

<Dolby Atmos®>

映像と調和しながら、上方向を含むあらゆる方向を縦横無尽に音が移動する画期的な立体音響技術「Dolby Atmos®」。スピーカーの数による制限がなく、個々の音を3次元空間内に正確に定位したり、移動させることが可能。まるで映像の中に入り込んでしまった様な没入感あふれる視聴体験を実現します。

<FILMMAKER MODE™>

フレーム数の補完をオフにすることで、映画やドキュメント番組など制作者の意図通りの映像を視聴できるので自宅のリビングで映画などの世界観に浸ることも可能です。

<ブルーライトが少なく目に優しい>

有機 EL パネルは、ブルーライト低減フィルターを搭載しており、眼精疲労の原因のひとつとされるブルーライトの発生量が液晶テレビに比べて少なく、ドイツの第三者認証機関「TUV Rheinland」においても「目に優しいテレビ※」として認



Eye Comfort Display (OLED)
www.tuv.com
ID 1111225737

証を取得。ゲームやオンライン講義など長時間ディスプレイを見るシーンでも、ブルーライトの影響を軽減できます。 ※LG OLED77 インチパネルに基づいた測定結果

(3) GAME ～ずっと。ゲーム体験～

<HDMI2.1 対応>

HDMI2.1 で指定された eARC、VRR (可変リフレッシュレート)、ALLM (自動低遅延モード) をサポートしています。8K (60Hz)、4K (120Hz) に対応している LG テレビなら、2020 年発売の最新ゲーム機にも対応し、ゲーム機本来のスペックを余すことなく発揮できます。

※OLED G1、C1 は VRR、ALLM、eARC に対応、OLED A1 は ALLM、eARC に対応しています

<応答速度 1ms>

レースゲームなど画面の切り替えが速いシーンでも残像感が少なくクッキリ表示し、スピード感あふれるゲーム映像が楽しめます。

<NVIDIA® G-SYNC™ Compatible 対応> (※OLED A1 シリーズは除く)

パソコンとテレビのリフレッシュレートを同期させ、ゲームの映像で発生するズレやカクつきを抑えます。

<HGiG に準拠>

HDR ゲームの普及団体 HGiG に準拠しています。ゲームシーンによって発生する白飛びや黒つぶれを防ぎ、HDR のゲーム世界を美しく再現します。

<ゲームオブティマイザ>

スタビライザー調整によって、白飛びや黒つぶれの箇所をオリジナル映像のようによみがえらせる機能や、ゲームジャンル設定によって、FPS では明暗のコントラストを強化し、隠れた敵を見やすく表示したり、RPG ではコントラストを強調し、キャラクター (主人公) のグラフィックを強化してスポットを当てるなど、FPS/RTS/RPG/スタンダードの4つのジャンルにあわせ映像を最適化するなど、プレイ環境やゲームジャンルに合わせて、画質モードを自由に選択できます。

～Xbox Series X の最強タッグ～

LG は、Xbox Series X のオフィシャルパートナーです。LG の有機 EL テレビと Xbox Series X を組み合わせることで、高速な応答速度となめらかなグラフィックが実現します。Dolby Vision や Dolby Atmos®にも対応しており、ゲームをプレイしている時の没入感を向上させます。また、4K 解像度と120Hzを同時に実現できる HDMI ポートを4つも備えているため、PC とコンソール両方で楽しむようなコアゲーマーの方でも思う存分お楽しみいただけます。



(4) INTERIOR ～ずっと。溶け込む空間デザイン～ (※OLED G1 シリーズのみ)

<壁面にぴったり密着させて設置できる「ギャラリーデザイン」>

壁掛け用の取り付け金具がテレビ本体の中に収まる構造で、テレビと壁の間に隙間が生まれません。視聴距離が気になるお部屋でも壁にぴったり密着させて設置できるので、さらに大画面が楽しめます。

普通の壁掛け

取り付け金具が大きく、その厚み分、壁とテレビの間に隙間ができてしまう。



ギャラリーデザイン

金具がテレビ本体の中に収まる構造で、壁にぴったり密着する。



ギャラリーデザインの金具は可動式で左右に首振りすることができます。



<壁寄せ設置できる「ギャラリースタンド」(FS21GB)>

※別売オープン価格(想定実売価格:44,000 円前後)

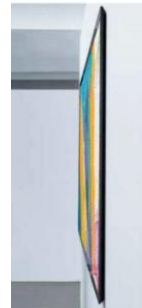
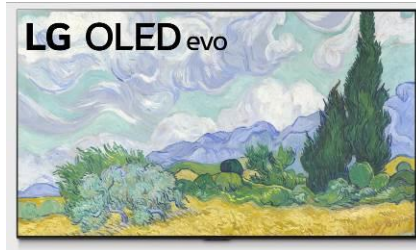
絵のように美しいデザインは、もはや壁だけのものではありません。ギャラリースタンドを使用すると、壁面のない場所でもスタイリッシュに設置できます。



■ 各シリーズの特長

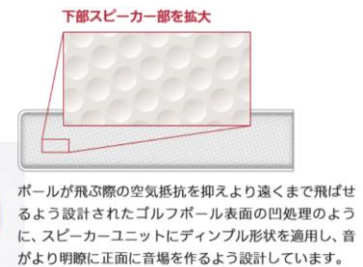
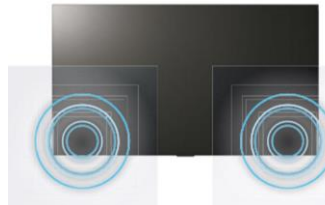
➤ 「OLED G1」シリーズ (65、55 インチ)

- ・進化した世界基準の有機 EL パネル
「LG OLED evo」採用
- ・壁にぴったり密着させて設置できる
「ギャラリーデザイン」
- ・最新 AI プロセッサー
「α 9 Gen4 AI Processor 4K」搭載



➤ 「OLED C1」シリーズ (83、77、65、55、48 インチ)

- ・様々なお部屋で 4K 有機 EL 画質が楽しめる
豊富なサイズラインナップ
- ・「ディンプルスピーカー」搭載で
スリムな筐体から前方にクリアな
高音質を届ける
- ・最新 AI プロセッサー
「α 9 Gen4 AI Processor 4K」搭載



➤ 「OLED A1」シリーズ (77、55、48 インチ)

- ・Dolby VisionIQ と Dolby Atmos に
対応した高画質・高音質な有機 EL スタンダードモデル
- ・AI プロセッサー「α 7 Gen4 AI Processor 4K」搭載



- ※ Xbox は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です
- ※ Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Vision、およびダブル D 記号は、アメリカ合衆国と/またはその他の国におけるドルビーラボラトリーズの商標または登録商標です。
- ※ HDMI と HDMI High-Definition Multimedia Interface 用語および HDMI ロゴは、米国およびその他の国々における HDMI Licensing, AdMinistrator, Inc の登録商標または商標です。
- ※ Amazon、Alexa、Prime Video および関連するロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。



※その他、本リリースに掲載されている社名、製品名、技術名は各社の商標または登録商標です
※画像はすべてイメージです
※本仕様は予告なく変更される場合があります

■LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社概要

社 名: LG Electronics Japan 株式会社 (LG Electronics Japan Inc.)
本 社: 〒104-8301 東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラストタワー15 階
U R L: <https://www.lg.com/jp>
設 立: 1981 年 1 月
代 表 者: 代表取締役 李 栄彩 (イ・ヨンチェ)
事業内容: LG エレクトロニクス製品の日本向け輸入販売業。現在は 5 事業を展開
【ホーム・アプライアンス&エア・ソリューション】
洗濯機、冷蔵庫、衣類リフレッシュ機等
【ホーム・エンターテインメント】
テレビ、ブルーレイプレイヤー等
【ビジネス・ソリューションズ】
モニター、ノートパソコン、ホームプロジェクター、デジタルサイネージ、ソーラー事業等
【ビークルコンポーネント・ソリューションズ】
車載用機器等
【モバイル・コミュニケーションズ】
スマートフォン、タブレット端末、モバイルアクセサリ等

■LG エレクトロニクスについて

LG エレクトロニクスは、家電やモバイル製品をはじめとするテクノロジーのグローバルイノベーターとして、世界中に事業拠点をもち、約 75,000 人以上の従業員を擁しています。
2020 年の世界売上高は約 560 億ドルで、「ホーム・アプライアンス&エア・ソリューション」、「ホーム・エンターテインメント」、「モバイル・コミュニケーションズ」、「ビークルコンポーネント・ソリューションズ」、「ビジネス・ソリューションズ」の 5 事業を展開。テレビ、洗濯機、冷蔵庫、エアコン、モバイルデバイス、デジタルサイネージ、車載用機器などを製造する世界有数の総合家電ブランドです。
また、プレミアム家電ブランド「LG SIGNATURE」や、独自開発の人工知能技術「LG ThinQ」などを展開しています。詳しくは、www.lg.com をご覧ください。

報道関係者様のお問い合わせ先

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社 広報担当:阿部
Email: pr.jp@lge.com